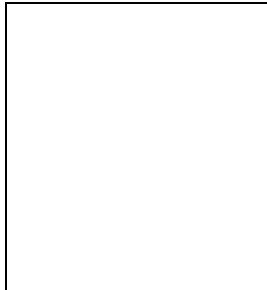


▽ 桃原千英子 講師 TOUBARU, Chieko



所 属 : 総合文化学部 日本文化学科
 担当科目 : 国語科教育法 I II 国語科教育法演習 I II
 日本文学特講 I II
 リテラシー入門 I II アカデミック・ライティング
 ゼミナール I II III IV 卒業論文 I II

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

① 2005年 上越教育大学大学院 学校教育研究科 学校教育専攻 学習臨床コース 学習過程臨床分野 修了
② 修士(教育学)
③ 全国大学国語教育学会 日本国語教育学会 表現学会 臨床教科教育学会
④

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践 1) 国語科教育法 I	2014年9月～	(2単位) (後期) 日本文化学科 2~4年次、1クラス34名、教育課程及び指導に関する科目(必修)、一般講義 ・本講は、中・高教諭一種免許状を取得するために必要となる、教科指導法を学ぶことを目的とする。国語科教育学の歴史と理論を学び、実践事例を検討することで、自らの教材研究・授業構想に生かすための基礎を身につける。
2) 国語科教育法 II	2015年4月～	(2単位) (前期) 日本文化学科 3~4年次、1クラス34名、教育課程及び指導に関する科目(必修)、一般講義 ・本講は、中・高教諭一種免許状を取得するために必要となる、教科指導法を学ぶことを目的とする。

3) 国語科教育法演習 I	2014 年 9 月～	<p>国語科教材について、素材としての分析のみならず、教材としての価値、学習者にとっての意味という視点をもって研究を深め、実際の授業を想定した学習指導案の作成ができる力を身につける。</p> <p>(2 単位) (後期) 日本文化学科 3~4 年次、1 クラス 10 名、教育課程及び指導に関する科目 (必修)、演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講は、国語科学習指導の理念や教材研究の方法についての理解を深化させ、実際の授業ができるようになることを目的とする。 <p>指導案を作成し模擬授業を行うことで、理論と実践をつなぎ、反省的实践者としての視点と態度を身につける。</p>
4) 国語科教育法演習 II	2015 年 4 月～	<p>(2 単位) (前期) 日本文化学科 4 年次、1 クラス 10 名、教育課程及び指導に関する科目 (必修)、演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講は、国語科学習指導の理念や教材研究の方法についての理解を深化させ、指導目標を明確にした実際の授業ができるようになることを目的とする。 <p>学習者の思考を促すような指導案を作成し、模擬授業を行うことで、理論と実践をつなぎ、反省的实践者としての視点と態度を深める。</p>
5) 日本文学特殊講義 I 日本文学特講 I	2014 年 9 月～ 2015 年 9 月～	<p>(2 単位) (前期) 日本文化学科 3~4 年次、1 クラス 13 名、専門教育科目 (選択)、教育課程及び指導に関する科目 (国文学)、一般講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講は、近現代の小説を文学的文章教材として扱い、ナラトロジーによる教材分析を行う能力を身につけることを目的とする。語りの分析により、中学・高等学校の国語科教科書に採録されている作品の教材価値についても具体的に考察する。 <p>2015 年 9 月から「日本文学特講 I」に移行。</p>
6) 日本文学特殊講義 II 日本文学特講 II	2014 年 9 月～ 2015 年 4 月～	<p>(2 単位) (後期) 日本文化学科 3~4 年次、1 クラス 13 名、専門教育科目 (選択)、教育課程及び指導に関する科目 (国文学)、一般講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講は、「読みの交流」学習の理論的モデルを学ぶとともに、読みの交流を促す学習課題について具

7) リテラシー入門 I	2015 年 4 月～	<p>体的に考察する。さらに、発話プロトコルの分析法を学び、学習者の実態を検証する能力を身につけることを目的とする。</p> <p>2015 年 9 月から「日本文学特講Ⅱ」に移行。</p> <p>(2 単位) (前期) 日本文化学科 1 年次、2 クラス (2015) 1 クラス (2016～) 45 名、専門教育科目 (必修)、演習</p> <p>・本講は、アカデミック・スキル (情報収集・整理力、分析力、思考力、批判力、発表力、文章記述力) の習得を目的とする基礎的な科目である。多角的な分析視点、要約、レポート作成等の基礎的能力を養成する。初回の「大学入門」では、普天間飛行場やポケットパークを見学し、沖縄の地理的環境・歴史的課題を考え、足元から日本や世界に目を向ける機会を持っている。</p>
8) リテラシー入門Ⅱ	2014 年 9 月～	<p>(2 単位) (後期) 日本文化学科 1 年次、2 クラス (2014・2015) 1 クラス (2016～) 45 名、専門教育科目 (必修)、演習</p> <p>・本講は、アカデミック・スキル (情報収集・整理力、分析力、思考力、批判力、発表力、文章記述力) の習得と養成を目的とする。グループごとの研究発表により、日本文化学科における研究手法の基礎的能力を養成する。</p> <p>グループワークでは、コーディネート能力・課題解決能力を高めるように指導している。</p>
9) アカデミック・ライティング	2015 年 4 月～	<p>(2 単位) (前期) 日本文化学科 2 年次、1 クラス 45 名、専門教育科目 (必修)、一般講義</p> <p>・本講は、ゼミナールでの研究活動に必要なアカデミック・スキルを修得することを目的とする。文章表現法やアンケート調査の計画・実施、パソコンを用いた分析方法等を学習し、レポート報告を行い、論文作成の基礎的能力を養成する。</p>
10) ゼミナール I～IV	2015 年 4 月～	<p>(2 単位) (半期) 日本文化学科 3～4 年次、1 クラス 12 名、専門教育科目 (必修)、演習</p> <p>・本演習は国語科教育に関する演習を行うものである。卒業論文のテーマを念頭に置き、レポートを作</p>

<p>11) 卒業論文 I II</p>	<p>2016 年 4 月～</p>	<p>成、発表し、検討会を持つ。その中で、文献を読み取る力、分析する力、表現する力、多角的に考える力の基礎を身につける。</p> <p>(2 単位) (半期) 日本文化学科 4 年次、1 クラス 12 名、専門教育科目 (必修)、演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016 年度、卒業論文指導 (指導学生数 12 名、学士学位取得者数 名、対面指導時間概数)、学会・研究会への出席と報告書作成。 ・国語科教育学に関する卒論を作成。文献による理論研究を基礎として、授業デザインの考案、実践による検証を行う。
<p>2. 作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>1) 「(三省堂準拠) 平成十四年度版 マスターシート 中学校国語」(共著)</p>	<p>平成 14 年 5 月 9 日～平成 15 年 8 月 31 日</p>	<p>沖縄県教育委員会発行の基本問題集「マスターシート」の作成に携わった。英語・数学・国語の基礎基本を確認するための問題集である。主に二学年を担当し、漢字・読解・語句の意味などの問題を中心に作成した。</p>
<p>2) 『中学校国語 1 教師用指導書 教材研究編 11 学 図 国語 707』 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成 18 年 4 月発行</p>	<p>「1 家族の中で〈深める・広げる〉字のない葉書(随想)」担当</p>
<p>3) 『中学校国語 1 教師用指導書 指導事例編 11 学 図 国語 707』 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成 18 年 4 月発行</p>	<p>「1 家族の中で〈深める・広げる〉字のない葉書」担当</p>
<p>4) 『中学校国語 2 教師用指導書 教材研究編 11 学 図 国語 807』 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成 18 年 4 月発行</p>	<p>「1 仲間と共に 逃げることは、ほんとにひきょうか(評論)」担当</p>
<p>5) 『中学校国語 2 教師用指導書 指導事例編 11 学 図 国語 807』</p>	<p>平成 18 年 4 月発行</p>	<p>「1 仲間と共に 逃げることは、ほんとにひきょうか」担当</p>

学校図書株式会社発行		
6) 『教科研究国語 No.192』 中学校国語 2011年 前期	平成 23 年 4 月 発 行	学校図書株式会社の広報誌『教科研究国語』 [すぐに役立つワークシート] を担当。 「握手」(井上ひさし)のワークシート作成と解説 を行う
7) 『中学校国語 1 教師用 指導書 教材研究編(上巻) 11 学図 国語 722』pp.61-82 学校図書株式会社発行	平成 24 年発行	「1 家族の中で〈活用〉字のない葉書(随想)」 担当
8) 『中学校国語 1 教師用 指導書 指導事例編 11 学 図 国語 722』pp.16-32 学校図書株式会社発行	平成 24 年発行	「1 家族の中で〈活用〉字のない葉書(随想)」 担当
9) 『中学校国語 2 教師用 指導書 教材研究編(上巻) 11 学図 国語 822』pp.48-63 学校図書株式会社発行	平成 24 年発行	「1 仲間と共に〈活用〉 逃げることは、ほんと にひきょうか(説明・評論)」担当
10) 『中学校国語 2 教師用 指導書 指導事例編 11 学 図 国語 822』pp.13-31 学校図書株式会社発行	平成 24 年発行	「1 仲間と共に〈活用〉 逃げることは、ほんと にひきょうか(説明・評論)」担当
11) 『新しい教科書と授業改 善』 財団法人学校教育研 究所編	平成 24 年 2 月 25 日発行	Ⅱ教科等における授業改善のポイント 国語 7 「発表や交流の活動を重視した国語科の授業改善」 担当
12) 『教師が学び生徒が活 きる 国語科授業づくりの視 点と実践(中学・高校版)』 大城貞俊・田名裕治編 沖縄県・国語科の授業づく り研究会発行	平成 25 年 2 月 25 日発行	第 5 章 3-2、3-3、3-4 執筆 「交流により、作品を「批評」しあおう」 「主体的に読み合う「読書教材」～リテラチャー・ サークルを用いて～」 「「読みの交流」を中核に据えた授業展開」 担当
13) 『教科研究国語 No.197』 中学校国語 2013 年 後期	平成 25 年 10 月 発 行	学校図書株式会社の広報誌『教科研究国語』 [すぐに役立つワークシート] を担当。

<p>14) 『読みの交流と言語活動 国語科学習デザインと実 践』松本修編著 玉川大 学出版部</p>	<p>2015年12月発行</p>	<p>「走れメロス」(太宰治)のワークシートの作成と 解説を行う。</p> <p>第4章第4節執筆 「読みの交流のための〈問い〉の要件と〈空所〉概 念」 担当</p>
<p>15) 『中学校国語1 教師 用指導書 教材研究編(上 巻)11学図 国語728』 pp.50-114, pp.156-182, pp.199-209 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成28年発行</p>	<p>「1 絆 家族の中で 風呂場の散髪ー続岳物語 (小説)」(共著・筆頭著者:松本修) 「1 絆 家族の中で 字のない葉書(随想)」 「1 絆 家族の中で 兄やん(小説)」(共著・ 筆頭著者:松本修) 「2 生命 命の鎖 ものづくりに生きる(説明・ 評論)」(共著・筆頭著者:小尾真) 「2 生命 命の鎖 変わる動物園(説明・評論)」 (共著・筆頭著者:小尾真) 「2 生命 命の鎖 知識の樹木ー「音遊び」抄(随 想)」(共著・筆頭著者:松本修) 担当</p>
<p>16) 『中学校国語1 教師 用指導書 指導事例編 11 学図 国語728』pp.16-29 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成28年発行</p>	<p>「1 絆 家族の中で 字のない葉書(随想)」 担当</p>
<p>17) 『中学校国語2 教師 用指導書 教材研究編(上 巻)11学図 国語828』 pp.52-87 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成28年発行</p>	<p>「1 絆 仲間と共に 昔話(随想)」(共著・筆 頭著者:守田庸一) 「1 絆 仲間と共に 逃げることは、ほんとにひ きょうか(説明・評論)」 「1 絆 仲間と共に 吟味された言葉(随想)」 (共著・筆頭著者:松本修) 担当</p>
<p>18) 『中学校国語2 教師 用指導書 指導事例編 11 学図 国語828』pp.13-26 学校図書株式会社発行</p>	<p>平成28年発行</p>	<p>「1 絆 仲間と共に 逃げることは、ほんとにひ きょうか(説明・評論)」 担当</p>
<p>19) 『中学校国語3 教師</p>	<p>平成28年発行</p>	<p>「2 生命 命の共鳴 存在(詩)」(共著・筆頭</p>

<p>用指導書 教材研究編（上巻）11 学図 国語 928』pp.178-187 学校図書株式会社発行</p>		<p>著者：山元隆春) 担当</p>
<p>3. 学生支援活動</p>		
<p>1) A0 入試入学前オリエンテーション</p>	<p>2014 年 10 月～</p>	<p>A0 入試入学合格者に対する事前オリエンテーションを担当（教員 2 名で共同担当）し、入学前の学習課題への取り組み支援、大学生になることへの意識付け、大学生活への適応支援を行った。</p>
<p>2) 履修指導・学習不振者の指導</p>	<p>2014 年 9 月～ (随時)</p>	<p>取得単位数が 16 単位未満の学生に面談実施。保護者にも連絡をとり、生活面や学習面の改善を指導した。</p>
<p>3) キャリア支援</p>	<p>2016 年 7 月・9 月</p>	<p>1 年次必修科目「リテラシー入門 I」や 2 年次後期オリエンテーションにて、本学キャリア支援課のアドバイザーに依頼し、キャリア意識を高めるためのガイダンス・ワークショップを合同授業として実施。講師との内容調整、当日の司会などのコーディネートを担当した。</p>
<p>4) 国語科教職関連科目・講演会・春期模擬授業の企画・実施</p>	<p>2016 年 2 月</p>	<p>国語科教職履修生を対象に、那覇市立教育研究所 所長、指導主事を招聘し、講演会を開催。講師紹介を担当した。</p>
<p>4. 学外での教育活動</p>		
<p>5. 教育改善活動</p>		
<p>1) リフレクションシートの活用</p>	<p>2014 年 9 月～</p>	<p>授業の改善点を早期に把握し、授業改善に役立てるため、リフレクションシートにより、学生の声を聴く機会を設けた。</p>
<p>2) 授業評価アンケート</p>	<p>2015 年 1 月～</p>	<p>担当する全科目について実施。学生から挙げられた課題を分析・検討し、次年度の授業改善に活かした。</p>

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

- 1 「「ブラジルおじいの酒」における語りの重層性と読みの形成－教材科研究の視点から－」『表現研究』第 80 号, 86-94 頁, 表現学会 平成 16 年 10 月 共著 (共著者 松本修)
- 2 「研究課題と方法の共有による協同的な授業研究－離島における授業研究の試み－」『臨床教科教育学会誌』第 6 巻, 第 1 号, 1-9 頁, 臨床教科教育学会 平成 18 年 10 月 共著 (共著者 松本修)
- 3 「読みの学習における思考と表現－読解リテラシーとコミュニケーション－」『国語科教育』第 61 集, 43-50 頁, 全国大学国語教育学会 平成 19 年 3 月 共著 (共著者 松本修)
- 4 「対話による意見文の学習－へき地校での実践から－」『臨床教科教育学会誌』第 7 巻, 第 2 号, 63-71 頁, 臨床教科教育学会 平成 19 年 10 月
- 5 「読みの交流のための前提的条件－『少年の日の思い出』の読みを通して－」『臨床教科教育学会誌』第 8 巻, 第 2 号, 31-42 頁, 臨床教科教育学会 平成 20 年 10 月
- 6 「読みの交流による『走れメロス』の授業実践」『臨床教科教育学会誌』第 10 巻, 第 1 号, 57-66 頁, 臨床教科教育学会 平成 21 年 5 月
- 7 「入れ子構造をもつ文学教材における読みの学習－目取真俊「ブラジルおじいの酒」における読みの交流－」『月刊国語教育研究』2011 1 月号 (通巻 465) 発行 日本国語教育学会 平成 23 年 1 月
- 8 「文学作品の読解過程の考察－入れ子構造を持つ作品と学習課題の検討を通して－」『Groupe Bricolage 紀要』No. 29, 10-25 頁, Groupe Bricolage 平成 23 年 12 月
- 9 「発表や交流の活動を重視した国語科の授業改善」財団法人学校教育研究所 教科書シリーズ『新しい教科書と授業改善』Ⅱ教科等における授業改善のポイント 国語 7 担当 平成 24 年 2 月
- 10 「誤読の乗り越えと読みの深まり－「ブラジルおじいの酒」における読みの交流と再読－」『Groupe Bricolage 紀要』No. 31, 30-46 頁, Groupe Bricolage 平成 25 年 12 月
- 11 「中学校における俳句の読みと創作」『沖縄国際大学総合学術研究紀要』第 18 巻 第 1 号, 75-89 頁, 沖縄国際大学総合学術学会 2015 年 3 月
- 12 「谷川俊太郎「かなしみ」の詩における読みの交流と学習課題－大学生による交流・発話分析をもとに－」『沖縄国際大学日本語日本文学研究』第 20 巻第 2 号, 1-37 頁, 沖縄国際大学日本語日本文学会, 平成 28 年 3 月
- 13 「「読みの交流」で自立した読者の育成を－メタ認知能力の育成を重視した、対話的な学びのデザイナー－」『月刊国語教育研究』2016 5 月号 (通巻 529) 発行 日本国語教育学会 平成 28 年 5 月

研究分野

国語教育学、臨床教科教育学

【E メール・ホームページ等】

c.toubaru@okiu.ac.jp

平成 28 年 9 月 26 日現在